

宇宙開発 と 情報学 の 最前線

2024

8.18日

13:00-16:40

参加
無料対象：高校生
中学生
および一般

プログラム・講演内容

13:00-13:10

開会の挨拶

五十嵐 淳 研究科長

13:10-13:50

宇宙でモノを
うまく操る

大塚 敏之 京都大学情報学研究科教授

地面のない宇宙空間でモノの動きを操ろうとすると、地上にはない難しさが現れます。たとえば、宇宙空間に浮かんでいるロボットがアームで何かをつかもうとすると、アームを動かしたときの反動でロボット本体も動いてしまい、手先の位置がずれてしまいます。宇宙空間ならではのモノの動きとその制御方法を紹介します。

14:00-14:40

宇宙線に負けない
コンピュータを目指して

橋本 昌宜 京都大学情報学研究科教授

宇宙線と呼ばれる宇宙を飛び交う放射線によって、コンピュータは誤動作することが知られています。誤動作の克服に向けて進めている研究を紹介いたします。

近年、宇宙開発がますます注目を集めています。本公開講座では、京都大学情報学研究科や生存圏研究所、そしてJAXA（宇宙航空研究開発機構）の専門家をお招きし、宇宙開発に関わる最新の研究成果や技術についてわかりやすく解説していただきます。

場所：京都大学総合研究8号館3階NSホール

開催方法：対面

定員：160名

申込方法

下記URLかQRコードよりお申込みください

URL <https://forms.gle/AnHEuA8S7wVoV5o3A>

京都大学 情報学研究科 公開講座 検索



お問い合わせ先

〒606-8501 京都市左京区吉田本町
京都大学 情報学研究科 公開講座事務局
E-mail 140soumu@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp



14:50-15:30

電波を使って
地球大気を観測する

山本 衛 京大大学生存圏研究所教授

通信や放送に使われる電波は、環境測定にも活用されます。京大では大型レーダーを使った地球大気の観測を続けてきました。最近ではGPS衛星からの電波を活用した新しい観測も生まれてきていますので、これらを紹介します。

15:40-16:20

「はやぶさ」
「はやぶさ2」
：世界初の挑戦と
その結果

吉川 真 JAXA准教授

小惑星探査機「はやぶさ」と「はやぶさ2」は、世界で1番目と2番目に小惑星から物質を地球に持ち帰ったミッションです。両方ともいろいろな世界初の挑戦をしましたが、多くの困難に直面し、そしてそれを克服してミッションの目標を達成しました。世界初の挑戦とその結果、そして今後の展開についてご紹介します。

16:30-16:40

閉会の挨拶

柴山 允瑠 京都大学情報学研究科准教授